

授業科目名	相談援助入門	単位数	2単位
担当教員名	平雅夫	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
(1) ソーシャルワークを念頭に、対人的な相談援助の構成要素と展開過程を理解する (2) 相談援助を実践するための価値、原理・原則、基本的な姿勢を理解する (3) 相談援助の方法とくに相談面接の技法について学ぶ			
授業の概要			
近年、ソーシャルワーカーの活躍の場は広がりを見せている。ソーシャルワーカーがアプローチする領域には、マイクロレベル(個人や家族)、メゾレベル(コミュニティ)、マクロレベル(社会)と、多岐にわたるが、人の尊厳の尊重や社会正義などの価値観は変わらない。この授業では、相談援助の基本として、クライアントと信頼関係を構築するための方法について学び、考える。			
授業計画			
第1回:現代社会における私たちの生活課題と相談援助 第2回:ソーシャルワークとはどのようなものか 第3回:ソーシャルワークの基盤・価値・原則 第4回:対人援助の作法を身につける前に 第5回:言葉を用いず信頼関係を築く作法 第6回:相手の気持ちに寄り添う作法 第7回:相手に質問するときの作法 第8回:相手に伝えるときの作法 第9回:相手のもっている力を引き出す法 第10回:苦手を感じず相手とかかわる作法 第11回:対応が困難に思える人への作法 第12回:相談援助の展開過程(プロセス)① 第13回:相談援助の展開過程(プロセス)② 第14回:相談援助の展開過程(プロセス)③ 第15回:授業のまとめ 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
スクーリングでは、主に第12回～第14回を扱う。			
テキスト			
大谷佳子(2022)『対人援助のスキル図鑑』中央法規、978-4-8058-8449-2 木下大生・藤田孝典(著)(2015)『知りたい! ソーシャルワーカーの仕事(岩波ブックレット)』岩波書店、9784002709246			
参考書・参考資料等			
鈴木孝典、鈴木裕介=編著(2023)『図解でわかるソーシャルワーク』、978-4-8058-8958-9			
学生に対する評価			
スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)			